



フードバンクから見えてくる貧困

あるシングルマザーからの手紙

「私は食べ物を買うお金がなく、生活に困っています。でも世界にはもっと苦しい生活をしている人がいます。例えば、戦争をやっている国に住んでいる人とか…。だから私はまだ幸せです」

自分より不幸な人を探し、その人と比べることでやっと自分の幸せを感じる。この手紙を読んだとき、金銭的に余裕がないだけでなく、精神的に余裕のない状態であることが伝わってきました。

相談窓口と連携した食の支援

私たち「セカンドハーベスト名古屋」は、名古屋市を中心にフードバンク活動を行う団体です。冒頭の手紙は相談窓口から依頼を受け、当団体が食品の詰合せを届けたシングルマザーからの手紙です。この女性は夫からのDVにより離婚したため、2つの仕事をかけもちして3歳の子育てを続けていました。しかし、働き過ぎで心のバランスを崩し、うつ病になってしまい、相談窓口へ駆け込みました。この女性のように、生活に困っている人は健康面、経済面、人間関係などさまざまな問題を抱えています。食品を届けただけでは、すべての問題を解決することはできません。複雑に絡み合った問題を順番に解決していく必要があります。とはいえ、まずはお腹を満たして落ち着かなければ、解決していくことができません。

そこで、当団体では生活に困った人が駆け込む相談窓口を開設している団体と連携して食品支援を行っています。食品支援が必要な場合は私たちが食品の詰合せを送り、その後の生活の安定に向けた支援を相談窓口が行っています。実際の詰合せには、お米5kgと調味料や缶詰など約12kg、単身世帯だと3週間分はもつ量の食品を入れています。また、箱の中には受け取った

ことを証明するための受領書を入れています。返信していただいた受領書には、「ダンボールを開けたら食べ物がいっぱい詰まっていた、嬉しくて涙がでました!」といったお礼の言葉が添えられていることがあります。このようなお礼をいただくと、私たちの活動が誰かの役に立っていることを実感でき、ボランティアの方々と一緒に喜んでいきます。

お菓子は心の栄養

食べるのに困っている人が一番必要としている食べ物、主食となるお米や麺などです。しかし、お菓子やジュースなども少しだけ入れています。お金がなく頼る人もおらず、気持ちに余裕がない中、お菓子やジュースを受け取ることで、「子どもがお菓子を食べて笑顔になり、その様子を見たお母さんも、つられて笑顔になる」。そんな様子を想像して、「栄養価は低いけど、お菓子って心の栄養になるよね」とボランティアの方々と話しながら詰合せを作っています。もしご家庭に余った食品がありましたら、当団体にご寄付ください。生活に困っている誰かの体と心を支える食品の詰合せに使わせていただきます。

INFORMATION

セカンドハーベスト名古屋とは?

名古屋市に住む有志が2008年に設立。2009年NPO法人格取得。2015年3月「認定NPO法人」として名古屋市より認可。主に定年退職したシニアや主婦、学生など20代～70代までの会員約60人が活動。まだ食べられるのに捨てられる「もったいない」食品を必要な人へ届ける「おすそわけ」の仕組みであるフードバンク活動を行う。2014年度は511トンの食品を91企業・団体から提供を受け、259団体へ配布(511トンを小売価格に換算すると約3億円に相当)。

名古屋市北区柳原3-4-2小菅ビル1F
TEL: 052-913-6280 FAX: 052-913-6281
E-mail: info@2h-nagoya.org
ホームページ: <http://www.2h-nagoya.org/>

セカンドハーベスト名古屋 検索



お米5kgと調味料や缶詰12kg

隔月で、地元企業の社会貢献活動について、各担当者に自社の社会貢献活動を紹介していただいています。第31回となる今回は、株式会社名古屋グランパスエイトです。

地域の皆さまから「愛されるクラブ」を目指し、この「街」の「元気と笑顔」のために活動

株式会社名古屋グランパスエイト ホームタウン営業部ホームタウングループ 大内田 勇貴

名古屋グランパスはホームタウンのすべての皆さまに「もっと身近に。もっと楽しく」感じていただけるよう、日々、さまざまな場面で活動しています。

子どもたちとともに - 「名古屋市小学校訪問」

ホームタウン活動の一環として選手会が毎年、名古屋市小学校訪問を行っています。8回目となる2014年は、11月5日(水)、11月12日(水)の2日に分けて名古屋市中区の6校を訪問。選手自らが企画したプログラムで、小学生たちに「夢」や「希望」を持つことの大切さを伝えました。

地域社会とともに - 「日本赤十字社愛知県支部パートナーシップ協定事業」

2011年4月より日本赤十字社愛知県支部とパートナーシップ協定を締結。マスコットのグランパスくんが赤十字親善大使に就任するなど、お互いの連携を深めています。昨年は名古屋第二赤十字病院の小児病棟を選手が慰問。入院している子どもたちの病室を訪ね、サイン入りのミニサッカーボールやノートをプレゼントし、入院している子どもたちに「元気と笑顔」を届けました。

試合スケジュール

スタジアムに来場いただいたすべての皆さまに、夢と感動を与えられるよう、選手は全力で戦います。ぜひ一度スタジアムに応援に来てください!!!

日時	対戦相手	会場
9月12日(土)18:30	VS ベガルタ仙台	豊田スタジアム
9月26日(土)19:30	VS ヴィッセル神戸	パロマ瑞穂スタジアム
10月24日(土)14:00	VS アルビレックス新潟	パロマ瑞穂スタジアム
11月 7日(土)14:00	VS ヴァンフォーレ甲府	豊田スタジアム

株式会社名古屋グランパスエイト ホームタウン営業部
〒460-0008 名古屋市中区栄5-1-32 久屋ワイエビル7階
TEL:052-242-9190 FAX:052-242-9194

……次回は、名古屋テレビ塔株式会社をご紹介します。



来場者全員に「赤T」プレゼント



新団体紹介

隔月で、設立1年未満の団体紹介をしています。NPOやボランティア活動がより身近に感じられるよう、様々な分野の団体を取り上げていきます。

特定非営利活動法人 TTSファミリー

法人設立

設立時期 2015年4月3日

代表者

松尾 かずな

連絡先

〒460-0012
名古屋市中区千代田3-31-22-3C
E-mail: tts-net-admin@tunagu.gr.jp

活動分野

医療福祉

活動目的

性同一性障害をはじめとした、性別に悩む当事者と家族等の身近な方の自助サポートグループです。当事者が普通に生活できる環境作りを目指し、正確な情報提供と仲間作りの場の提供、就労支援、教育啓発活動などを行います。

活動内容

- (1) 自助グループ運営(正確な情報提供と仲間作りの場の提供)
- (2) 就労支援
- (3) 教育啓発活動を含めた社会への情報発信

団体PR

任意団体として17年活動してきました。代表が名古屋に戻り、当事者と家族が普通に生活できる環境作りを行うために、松尾医師と当事者、当事者の家族、協力者とともにNPO法人化しました。ささやかながら社会貢献をしつつ、地道な活動しております。詳細はホームページ(<http://www.tunagu.gr.jp/tts/>)や公式ツイッター(@TTS_family)をご参照ください。

相談員・カウンセラーや事務等のボランティアを随時募集しています。担当:松尾かずな